

西浦和駅東西地区まちづくり検討会

ニュースレター

事務局 NPO法人さいたま都市まちづくり協議会内 電話048-838-8375

西浦和駅東西地区まちづくり検討会の発足

One Point :
西浦和駅東西地区のまちづくりについてどうあるべきか、どうしたら問題を解決し実現できるのかを学び、考えていきます。
市民・企業・行政の協働によるまちづくりの推進体制の構築を目指します。

この度、西浦和駅周辺のまちづくりを皆で考えてみようとして、地元有志により「西浦和駅東西地区まちづくり検討会」を立ち上げました。

西浦和駅周辺では昭和48年土地区画整理事業の都市計画決定がなされ、平成13年に住みよくする会が発足、平成15年暫定整備駅前広場の供用開始が実現しました。しかしながら、区画整理は都市計画決定から40年経過しても事業化に至らず、地区の状況や社会環境が変化したため、現在では区画整理手法ではまちづくりは難しい状況になっています。

西浦和駅周辺は駅のアクセスが悪い、消防活動が困難な区域がある、身近な公園がないなどの問題があります。すべてを一度に解決出来る方法はないものの、問題の改善に向け皆で取り組む必要があると考え行政、NPO、自治会、商店会ほか有志の協力を得て、西浦和駅周辺のまちづくりを皆で考えていく会を立ち上げました。

会の発足は平成25年3月23日



田島公民館にて

目次 :

検討会の発足	1
問題点と変化	1
設立総会	2
検討会の開催	2
専門部会開催	2
さくらくらぶの記事	3
新聞記事	4

西浦和駅周辺の問題点と変化について勉強して行きます

- 駅のアクセスが悪い
- 消防活動が困難な区域が存在する
- 身近な公園がない
- 駅周辺に窓口のある銀行がない
- 雇用の場が少ない など

西浦和駅周辺の昨今の変化はどうか

- 人口の変化
- 産業の変化
- 地価と税の変化
- インフラ整備と雇用の変化 など

平成25年6月5日 設立総会行われる



西部まちづくり事務所所長 土取様による講演と、いえ・まち再生会議の小山理事による講演が行われました。

平成25年6月5日に田島公民館で「西浦和駅東西地区まちづくり検討会」の設立総会が行われました。ご出席をいただきました自治会長さん、商店会、地元関係者やNPOを始め、地元選出の衆議院 田中良生議員秘書の森本様・福山様、県議会議員の荒木裕介様、市議会議員の高橋勝頼様、阪本かつみ様、島崎豊様、オブザーバーには元市議会議員の千葉晴夫様、元桜区長の花野井健三様、元観光コンベンションビューロー専務理事の中村武三様、専門部会長の公益財団法人 埼玉りそな産業経済振興財団 主席研究員 萩原淳司様の皆様に、ご臨席をいただきました。

また、設立総会後には基調講演と致しまして、さいたま市都市局まちづくり推進部浦和西部まちづくり事務所の所長 土取 均様による「これからのまちづくりについて」と、一般社団法人埼玉いえ・まち再生会議 理事の小山祐司様による「住まいと環境について」の講演会が行われ設立総会が盛大に開催されました。

まちづくり検討会(まちづくり専門家派遣による勉強会の開催)



第1回 西浦和駅東西地区まちづくり検討会

平成25年7月10日(水) 田島新生会自治会館に於いて 14時～16時
 ・産業集積拠点の事例研究、まちづくり上の課題について

第2回 西浦和駅東西地区まちづくり検討会

平成25年9月11日(水) 田島団地集会所に於いて 14時～16時
 ・UR賃貸住宅ストック再生・再編方針について
 田島団地自治会事務局長様より説明
 ・「団地のこれから」

西浦和東西地区まちづくりからみた課題・団地の可能性・事例

第3回 西浦和駅東西地区まちづくり検討会

平成25年11月13日(水) 田島公民館に於いて 14時～16時
 ・勉強会を通じて見えてきた区画整理全般について(事務局より)
 ・区画整理計画区域における水路と空地の活用方法
 ・質問に対する資料提供—2項道路・市街化農地の課税について

専門部会の開催

第1回 専門部会

平成25年6月12日(水) 田島公民館に於いて 14時～16時

・模型を見ながら、田島地域全体のまちづくりビジョンについて

【産業集積拠点・武蔵浦和や東浦和駅周辺・団地の進化と再生など】

第2回 専門部会

平成25年10月9日(水) 田島公民館に於いて 14時～16時

・産業集積拠点の報告及び意見交換(事務局)

・区画整理事業長期未着手の影響と問題 計画廃止時のまちづくりの課題



検討会の記事 (さくらくらぶ 第五号より)

さくらくらぶ
第五号

桜区区民会議・市民活動ネットワーク通信 平成26年3月15日発行

第六期桜区区民会議
自転車利用を通じた桜区らしい
「安全で住みよいまちづくり」への提言

区民会議は、区民が主体となって区内の様々な課題等を協議し、区長に提言する協議体です。平成25年度は、区長より提示があった「安全で住みよいまちづくり～自転車をめぐる様々な問題や可能性について」をテーマに、協議を行いました。

そして1年間の協議は、区民ふれあいまつりでのアンケート結果をもとに提言をとりまとめ、2月27日、区長に提言書を提出しました。

提言

桜区の「安全で住みよいまちづくり」のため、自転車の適切利用を促進する施策や、自転車を通して桜区の魅力を伝える施策を行ってください。

施策を実施するにあたっては、ルール・リスク・街の魅力を「知ること」、コミュニケーションとしての「伝えること」、自分・相手・健康・環境を「守ること」という三つの視点に立ち、区民と協働して取り組んでください。

提言書の概要は次ページへ

※提言書の全文は、桜区役所1階情報公開コーナーや桜区ホームページなどで閲覧できます。提言書には具体的な取組みの提案も例示しています。ぜひご覧ください。

桜区市民活動ネットワーク 登録団体紹介

桜区のまちづくりを進める会

桜区の荒川堤外地には、里山の豊かな自然が残されています。特に、鴨川旧河道沿いのハンノキ林は、地域の自然環境の特徴でもあることから、「ハンノキの里」と命名し、残された自然を守る取り組みをしてみました。地域の豊かな自然に親しんでもらうために、観察会やフィールドワークを開催し、堤外地の清掃活動を行い、シンポジウムを開催して、地域の自然と共生し、生かす方策を参加の皆さんと検討してきました。

地域に残された豊かな自然を守り、生かす取り組みに、市民の皆さんもご参加いただけませんか。

代表 尾田 西郎

荒川堤外フィールドワーク 荒川堤外クリーンアップ活動

■第6回荒川堤外クリーンアップ活動
日 時：4月19日(土)9:30～11:30
集 合：荒川堤外 山崎家宅地跡集合
問合せ：oshiro212@yahoo.co.jp

NPO法人さいたま都市まちづくり協議会

私たちの活動の拠点でもある西浦和駅周辺は、昭和48年に土地区画整理事業の都市計画決定がされましたが、40年経過した現在も事業化に至っていません。その間、地域の状況や社会環境も変化しているため、桜区市民活動ネットワークに登録している「西浦和駅周辺の街を住みよくする会」や「桜区のまちづくりを進める会」、自治会、商店会、NPO、行政ほか地元有志の協力を得て、西浦和駅周辺のまちづくりをみんなで考えるべく、平成25年6月に「西浦和駅東西地区まちづくり検討会」を立ち上げ、西浦和駅周辺が抱える問題の改善に向け専門家と交えて勉強会を開催しています。

また、社会貢献を目的としてパソコン教室やいくつかの生涯学習クラブを運営し、地域の活性化に努めています。 代表理事 深井 康夫

桜区市民活動ネットワークに登録しませんか

【桜区市民活動ネットワークとは?】
桜区よりよいまちづくりのために活動している団体相互の緩やかなネットワーク(=つながり)のことをいいます。

【登録できる団体は?】
桜区に拠点を置き、地域のコミュニティの醸成や健康・文化・安全に関する活動など、桜区よりよいまちづくりのために実践的な活動を行う団体が登録できます(ただし、営利を目的とする活動、趣味や娯楽を目的とする活動、政治や宗教に関する活動を行う団体は登録できません)。

【登録する?】

- ・桜区役所1階にある地域活動コーナーを会議等で利用することができます(使用基準があります)。
- ・「さくらくらぶ」や桜区区民会議・市民活動ネットワークのホームページで団体の活動やイベント情報を掲載することができます(紙面の状況によります)。
- ・桜区活性化推進事業補助金を利用することができます(交付に当たっては審査があります)。

桜区市民活動ネットワーク登録団体(全24団体)3月15日現在

大久保地区まちづくりの会、桜田クリーン推進クラブ、埼玉通り商店会、浦和工業団地協同組合、西浦和駅周辺の街を住みよくする会、リサイクル女性会議、桜・田島ヶ原のサクラソウを守る会、郷土史研究クラブ、桜区明るい選挙推進協議会、アヤマの会、さいたま市スポーツ推進委員連絡協議会桜区支部、桜区のまちづくりを進める会、NPO法人さいたま都市まちづくり協議会、田島の獅子保存会、桜区地域スポーツクラブさくらっく、さいたま市P7A協議会桜区連合会、埼玉大学イノベーション・プロジェクト実行委員会、さいたま市交通安全保護者の会(母の会)桜支部、コボットコ・ハンガリアン料理研究会、土合中学校「おやじの会」、桜まつり実行委員会、桜区ビーチボール推進「桜援団」、桜区スポーツ振興会、むつめ祭実行委員会

NPO法人さいたま都市まちづくり協議会

私たちの活動の拠点でもある西浦和駅周辺は、昭和48年に土地区画整理事業の都市計画決定がされましたが、40年経過した現在も事業化に至っていません。その間、地域の状況や社会環境も変化しているため、桜区市民活動ネットワークに登録している「西浦和駅周辺の街を住みよくする会」や「桜区のまちづくりを進める会」、自治会、商店会、NPO、行政ほか地元有志の協力を得て、西浦和駅周辺のまちづくりをみんなで考えるべく、平成25年6月に「西浦和駅東西地区まちづくり検討会」を立ち上げ、西浦和駅周辺が抱える問題の改善に向け専門家と交えて勉強会を開催しています。

また、社会貢献を目的としてパソコン教室やいくつかの生涯学習クラブを運営し、地域の活性化に努めています。 代表理事 深井 康夫



